※令和５年度以降入学生用

学校番号	2001

令和８年度　理科

教科	理科	科目	物理	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　物理（第一学習社）						
副教材等	ニューグローバル物理基礎＋物理（東京書籍） 良問の風　物理　頻出・標準入試問題集　改訂版（河合出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち、その法則性について考え、疑問に思ったことを確かめてみようという態度を持ってください。また、学んだことを正確に記録し、科学的に探究する手法を身につけてください。

2　学習の到達目標

①知識及び技能…物理的な事物・現象に関する基礎的な知識及び基本的な概念や原理・法則を深く，系統的に理解する。
②思考力・判断力・表現力等…物理の学習を通して自然の事物・現象に関する基本的な原理・法則を系統的に理解し，自然を探究する能力と態度を身に付け，他科目の学習成果とも関連させて，自然界の事物・現象を分析的，総合的に考察する能力を身につける。
③学びに向かう力、人間性等…物理的な事物・現象に対して，興味・関心を高め，知的好奇心をもって問題を見出し，主体的に解決しようとする意欲を高める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	物理現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。 物理現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物理現象の中に問題を見いだし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	物理現象に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、授業、実験に意欲的に参加し、論理的に探求しようとする態度が見える。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

※令和５年度以降入学生用

1学期	波	光	a:光に関心を持ち､意欲的に探究しようとする。光の分散，散乱，偏光など，波としての光の性質を理解する。 b:凸レンズ，凹レンズの基本的な性質を学習し，光の進み方，像のできる条件などを考える。 c:探究活動を通じ，レーザー光源を用いてヤングの実験を行い，光の波長と干渉縞の間隔との関係を調べる。	定期考査 小テスト 問題演習	定期考査 発表 実験	問題演習 プリント ドリル
2学期	電気と磁気	電流と磁場	a:電流と磁場に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。荷電粒子にはたらくローレンツ力の大きさや向きを理解する。 b:抵抗，コイルなどに生じる交流電圧，電流の関係を，キルヒホッフの法則を用いて考える。 c:電流磁場観察器を利用し，円形電流のまわりにできる磁場のようすを調べる。	定期考査 小テスト 問題演習	定期考査 発表 実験	問題演習 プリント ドリル
		電磁誘導と電磁波		定期考査 小テスト 問題演習	定期考査 発表 実験	問題演習 プリント ドリル
2学期	原子	電子と光	a:電子と光､原子と原子核に関心を持ち、意欲的に探究しようとする｡X 線の最短波長を計算し，ブラッグの反射条件の式を理解して，適用することができる。 b:ボーアの量子条件と物質波による考え方との関係を結びつけて考える c: 分光器を用いて，さまざまな光源から発せられる光を観察し，光源によるスペクトルの違いを調べる。	定期考査 小テスト 問題演習	定期考査 発表 実験	問題演習 プリント ドリル
3学期		原子と原子核				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度